

国土交通大臣賞に清水建設本社 審査委員会奨励賞にヤンマーミュージアム

IBECの第6回サステナブル建築賞

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（村上周三理事長、IBEC）は2月17日、東京都千代田区の霞が関ビル35階の東海大学校友会館で、「第6回サステナブル建築賞」の表彰式を開催した。国土交通大臣賞、IBEC理事長賞、審査委員会奨励賞を受賞した合計13点の建築物の施主や設計者、施工者が登壇し、表彰を受けた。受賞作品には、燃料として生ごみ、木質ペレット、都市ガスなどを使用し、電気と熱の両方を供給できるコージェネレーションシステムや燃料電池システム、蓄電池システム、再生可能エネルギーである太陽光発電システムを導入した建築物が目立った。

そのうち、コージェネと太陽光発電による電力供給、コージェネの排熱を利用したデシカント空調、ビオトープに隣接した足湯に対する熱供給を行っている「ヤンマーミュージアム（滋賀県長浜市）」は、体験型ミュージアムとして、地球環境や資源循環というテーマと企業理念をうまく組み合わせて建築物として美しく構築している点が高い評価を受け、審査委員会奨励賞を受賞した。

サステナブル建築賞では新築・増改築後3年以内で1年以上使用している事務所、店舗・ホテル・病院など商業施設、延べ面積が5千㎡以下の小規模建築を表彰対象としている。IBECでは表彰を通して環境負荷低減、省二酸化炭素、省エネに優れたサステナブル建築物の普及促進に期待している。

今回の受賞作品は以下のとおり。

【国土交通大臣賞】

事務所建築部門では東京都中央区の「清水建設本社」が受賞した。

小規模建築部門では静岡県浜松市の「浜松信用金庫駅前支店」が受賞した。

商業施設その他部門については該当がなかった。

【IBEC理事長賞】

事務所建築部門では東京都江東区の「明治安田生命新東陽町ビル」が受賞した。



受賞したヤンマーミュージアムの
施主・設計者・施工者の代表

商業施設その他部門では福島県白河市の「福島白河第一データセンター」、大阪市の「あべのハルカス」の2点が受賞した。

小規模建築部門では東京都江東区の「NTTファシリティーズ新大橋ビル」が受賞した。

【審査委員会奨励賞】

事務所建築部門では横浜市の「大成建設技術センターZEB実証棟」、山梨県北杜市の「生長の家森の中のオフィス」、長野県長野市の「電算新本社」、静岡県静岡市の「静岡ガス本社」の4点が受賞した。

小規模建築部門では茨城県つくばみらい市の「三建設備工業つくばみらい技術センター」、愛知県丹羽郡の「日本デコラックス本社」、滋賀県長浜市の「ヤンマーミュージアム」の3点が受賞した。

商業施設その他部門については該当がなかった。



あいさつする村上周三理事長



ヤンマーミュージアムの小竹一男館長（右）